

本番のつもりで真剣に
～「校長面接練習」～

今週の12月6日(水)から、「校長面接練習」を実施します。実施日時は次の通りです。

「校長面接練習」日程

12月 6日(水) 第1時限 1組 第6時限 2組

12月 8日(金) 第5時限 3組

12月13日(水) 第1時限 4組 第6時限 5組

以下に手順を書いておきます。詳しい面接の受け方は、後の説明文を読んでください。

もちろん、本番と同じように正しい服装と言葉づかいで、真剣に臨んでください。ブレザーの下にセーター等を着ている人は、ブレザーの裾や袖口から出ないようにしてください。靴下は白無地で、スニーカーソックスはさけましょう。



この「校長面接練習」は、事業所や高校等への入試のための練習だけでなく、卒業を控えて「校長先生と一人ひとりが話をする」ということも目的としています。したがって入試に面接がない人も、真剣に取り組んでください。

※ 手順

- (1) あらかじめ各クラス出席番号順に6人ずつ7つのグループを作ります。
- (2) 面接練習は校長室で行います。
- (3) 最初のグループは授業開始の5分前(休み時間中)に、2番目のグループは授業開始時刻に、3番目以降のグループは2つ前のグループが教室に帰ってきたら、教室を出て、校長室前の廊下の椅子に掛けて待機します。
- (4) 校長室に入る前に服装をチェックします。
- (5) 廊下の係の先生の指示でグループ全員が立ち、出席番号の先頭の人がドアをノックします。
- (6) 中から「どうぞ」と言われたらドアを開け、「失礼します」と声を掛けて順に中に入り、最後の人が入り、最後の人が入ります。
- (7) 新東淀中学の校長室は裸足ですので、靴を脱いでからすのこに上がり、すのこの前に順に靴を手で並べます(新東淀中のみ)。本番ではこのような場面はありません。
- (8) 部屋に入ったら用意された椅子の左側(校長室は狭いので今回は前)に立ち、一礼をしてから受験番号(今回はクラスと出席番号からなる3ケタの番号)と名前を告げます。
- (9) 後は以下の「正しい敬語ではきはきと」に書いてあるとおりです。もう一度読み返しておきましょう。
- (10) 面接が終わり校長室を出るときは、ドアに近い人から先に出て、最後の人が入ります。

正しい敬語ではきはきと～ 面接の受け方～

就職試験や、多くの私立高校、公立高校のエンパワメントスクール、通信制、2次選抜などの入試には面接があります。

企業や高校が面接を行う理由の第1は、生徒がその学校や企業にどれぐらいの意欲を持って入りたいと考えているかを知るためです。意欲がなければ、仕事や学業は続きません。

もう一つは生活態度を知るためです。こんな重要な時でさえ、正しい言葉遣いや服装、態度ができない人は、日頃の学校生活や仕事もきっちりできないだろうと判断されます。最近では、このことの方が重視されるようになってきています。「今やらなくても、その時になったらできるよ」と思っている人は、必ず本番で日頃のいい加減な態度が出てしまいます。今からしっかりと練習すると共に言葉遣いなどは日頃から気をつけておきましょう。

面接の内容は、皆さんの中学校での様子や高校への抱負などですが、環境問題やボランティアなどの時事問題について問われることも多いようです。日頃から新聞などをよく読んで関心を持っておくとよいと思います。

ここに、面接の受け方について書いておきます。各自で練習をしておいてください。12月6日から校長室で練習をする予定です。

※ 面接マナー

- (0) 学校や会社に入る前に身だしなみをチェックします。ボタンは必ず一番上までとめます。胸ポケットのペンやヘアピンなどは取っておきます。名札もまっすぐかチェックします。中のセーターの裾や袖口がブレザーの下からのぞかないようにします。
- (1) 多くの学校等では待機中の皆さんの様子も観察しています。足を投げ出したり、上着のボタンをあけたり、おしゃべりなどはチェックされます。過去に、携帯電話を出していたことが理由で不合格になった人がいました。
- (2) 呼ばれたら元気よく返事をします。
- (3) 入室前にドアを軽く2回ノックします。グループ面接の場合は先頭の人がノックします。
- (4) 中から「どうぞ」と言われたらドアを開け、「失礼します」と声を掛けて中に入ります。
- (5) 入ったらドアを閉めます。このとき後ろ手で閉めないよう、ドアの方に体を向けて閉めます。グループ面接のときは最後に入った人が閉めます。
- (6, 7) 面接官の方を向いて軽く一礼してから、正しい姿勢でイスの左側に進みます。

- (8) もう一度丁寧に礼をしてから受験番号と名前を告げます。グループ面接の時は全員そろってから番号順に名前を告げます。礼は、手を指先までのばして体側に付けたまま、腰から約 30 度曲げます。女子は手を前に重ねてもいいでしょう。
- (9) 「どうぞ」と言われたら「失礼します」と声を掛けてから静かに座ります。
- (10) いすには深く腰を掛け、背もたれにもたれずに背筋をまっすぐ伸ばします。足はきっちりとそろえます。男子は少し開いてもかまいません。手は、男子は太ももの付け根で軽く握ります。女子は膝の上で手を重ねます。視線は面接官の口か首の付け根あたりに合わせます。下を向くと元気なく見え、上を向いたりキョロキョロすると落ち着きがないように見えます。
- (11) 言葉遣いは正しい敬語を使い、はつらつとした声でいいねいに。特に「謙譲語」と「尊敬語」の使い方に気をつけて。まちがったときは、照れて頭をかいたりせずに落ち着いて訂正します。まちがったことによる減点はありません。分からないときは悪びれずに「分かりません」と答えます。黙ってしまうことは減点の対象となります。
- (12) 「終わります」と言われたら、静かに立ち、「ありがとうございました」と声を掛けて一礼します。
- (13) 椅子の右側に出て、ドアまで進みます。
- (14) ドアの手前で向きを変え、「失礼しました」と声を掛け一礼し、またドアの方を向いてからドアを開けて退出します。最後の方はドアの方を向いてドアを閉めます。
- (15) 面接室を出てからも多くの先生が観察しています。最寄り駅まで観察している学校もあります。家に帰り着くまでは気を抜かないように。

* 右のイラストを参考にしてください。